



横須賀市防火・防災クラブ  
結成45周年 記念誌



## 「結成45周年を祝して」

横須賀市長 上地 克明



このたび、横須賀市防火・防災クラブが結成45周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

45年もの長きにわたり皆様には、家庭・地域における防火・防災意識の向上にご尽力いただいております、この場をお借りいたしまして厚く御礼を申し上げます。

さて、これまでの皆様の活動を改めて振り返りますと、まずは家庭から火災を出さないということを第一に据えながら、時代の変化に添い、防災や救急にまで取り組みを広げられ、現在では地域の安全・安心を支える大きな力となっております。日頃の研修や啓発で積み重ねていただいたご貢献は、いざという時の行動につながる、かけがえのない地域の財産です。

近年では、地震や台風、集中豪雨などの自然災害が相次ぎ、併せて高齢者を中心に、支援を要する方々の支援が喫緊の課題となっております。高齢化が進む本市においては、被害を少しでも減らすために、行政の取り組みに加え、近隣の見守りや声かけなど、地域の支え合いの体制づくりは不可欠となっております。

是非、皆様におかれましては、今後も自主防災組織や関係機関と連携いただき、平時からの備えと顔の見える関係を一層深めていただくとともに、地域の防火・防災力の向上に、変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、改めましてこの度の45周年を、心よりお祝い申し上げますとともに、横須賀市防火・防災クラブの更なるご発展と、クラブ員の皆様のご多幸、ご健勝を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。この度は、誠におめでとうございます。

## 「防火・防災の輪を広げるために」



横須賀市消防局長 鈴木 純也

横須賀市防火・防災クラブの皆様、結成45周年、誠におめでとうございます。

消防局長として、長年にわたり地域の防火・防災を支えてこられた横須賀市防火・防災クラブの皆様に、深く敬意を表します。

皆様には、各地域での巡回広報や啓発活動、各種研修への参加などを通じて、住宅用火災警報器の普及促進をはじめ、火災予防の呼びかけに日頃から力強くご協力をいただいております。行政からの情報だけでは届きにくい地域の現場において、皆様の言葉で分かりやすく伝えていただいていることは、予防行政を進める上で大きな支えであり、厚く御礼申し上げます。

また、火災や災害による被害を減らすためには、近隣での声かけや安否確認、避難行動の支援など、地域の共助の力が極めて重要です。そうした場面において、皆様が地域の先頭に立ち、率先して行動していただくことを大いに期待しております。平時から培ってこられたつながりと学びは、いざという時に地域を動かす確かな力となります。

消防局といたしましても、関係機関と連携しながら、分かりやすい広報と実践的な訓練の充実に取り組み、市民の皆様の安全・安心の確保に努めてまいります。今後とも、皆様とともに防火・防災の輪をさらに広げていければ幸いです。

結びに、横須賀市防火・防災クラブの一層のご発展と、クラブ員の皆様のご健勝を祈念し、お祝いの言葉といたします。

## 会長あいさつ



横須賀市防火・防災クラブ運営協議会長 鎌田 則子

横須賀市防火・防災クラブは、本年、結成45周年という節目の年を迎えることができました。

これもひとえに、日頃より私たちの活動を支えてくださる町内会・自治会をはじめ、多くの先輩クラブ員、地域の皆様、そしてご家族のご理解とご協力、また、ご指導いただいております消防局の皆様のおかげと、厚く御礼申し上げます。

私たち防火・防災クラブは、家庭の防火を原点に、それぞれの地域で結成され、「家庭から火事を出さない」を合言葉に活動してまいりました。あわせて、災害時に被害を少しでも減らすため、地域の皆様と声を掛け合い、助け合える関係づくりにも目を向け、防火から防災へと取り組みの幅を広げ、さまざまな研修や訓練に取り組んでまいりましたが、研修等で得たものは、非常に大きな学びがあったのではないかと思います。

これまでに得た知識を活かし、今後も、広く地域の方々に呼びかけながら、防火・防災の輪が更に大きな輪になるよう活動し、微力ながら地域の安全に貢献できればと思います。

結びに、クラブ員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。



## 各クラブ紹介～中央～

### 汐入防火・防災クラブ 会長 江口 洋子

私が（旧婦防）に参加してから、もう20年になります。当時は「いちばん下の子が小学校を卒業したら」という参加の条件があったと記憶しております。

そして、何か解らないうちに大騒ぎ（！？）に参加、役付きになっていったように思います。

今、時が流れ「自宅から火を出さない」というスローガンは変わらないにしろ、婦防⇒防火・防災クラブ、火災⇒災害に、時代とともにシフトチェンジが必要になってきたと感じております。

家を守る人の変化（いちばん下の子⇒独身のクラブ員もいる）

自分の生活スタイル優先（イベント参加⇒フルタイム勤務で平日は無理）等、婦人⇒女性の変化だけではないのかもしれない。

### 坂本防火・防災クラブ 会長 伊藤 千江

坂本防火・防災クラブでは、高齢者の多い坂本地域に根差した防火・防災の学びをできるような活動を心がけています。

これまでの活動内容としては、普通救命講習（AED）、パッキング、非常用持ち出し袋の中身紹介、水消火器訓練、HUG（避難所運営ゲーム）、市内研修、各種講習（防災講話、高齢者事故防止、在宅避難、災害伝言ダイヤル、災害時SNS活用、ペット同行避難）等があります。

「広報さかもと」や町内会掲示板、坂本防火・防災クラブホームページで活動案内・一般募集をさせていただき、町内会・包括支援センター・他クラブの皆様にも活動にご参加いただく機会も設けています。町内の方々の感想や生の声を聞くことは、次回活動の向上・励みにもなります。

地域の高齢化＝防火・防災クラブの高齢化でもあり、必ずしもクラブ員さんが毎回活動に参加できなくなっている難しさもありますが、それこそが地域の現状理解・災害時の共助につながると思うので、地道な活動を続けていけたらと思います。

### 金谷防火・防災クラブ 会長 藤 麻奈美

私たちのクラブは、地域の皆さんが安心して暮らせるよう防火・防災の意識を高めることを目的に活動しています。特に火災予防運動では、町内の方たちに家庭や地域から火災を発生させないことを目標に広報できたと感じます。

クラブ員の方たちは、体調や都合により参加が難しい場合もありますが、皆さんとても協力的で、できる範囲で参加してくださっています。

これからも無理のない形で、地域の安全のために活動を続けていきたいと思っております。



## 桜が丘防火・防災クラブ

会長 山崎 浩史

桜が丘防火・防災クラブのエリアは、坂を上る先に位置し、年寄が出歩くには「行きはよいよい帰りはこわい」と感じられる地形となっております。桜が丘1丁目は村杉さん、2丁目は池田さん、馬堀台住宅は私の3名でクラブ運営の音頭とりを行っております。

年度当初わたしは中央消防署で計画された防火・防災にかかわる活動について全数参加、またその成果について地域の皆様に広くお知らせしたいとの目標をかかげました。

しかし結果は動員参加率89%、周知活動は自治会加入者への一部資料の回覧にとどまる等、目標には程遠いものに終わりました。

桜が丘は高台で、傾斜地が多く狭隘道路がある・集合住宅がある・高齢者が多い・自治会加入率が減少傾向にあり「共助」の目指す機能発揮が憂慮される条件下にあり、火災が発生すれば恐ろしい結果が予測されます。

任期わずかとなりましたが、自治会の枠をこえた防火意識の向上策を後継に託し、役割を終えさせていただきます。長年お世話いただいている消防局・中央消防署の皆様へ感謝いたしますとともに、今後ご支援・ご指導賜りますようお願い申し上げます。

## 三春防火・防災クラブ

会長 鎌田 則子

三春防火・防災クラブは、平成12年に三春町8町内（現在は7町内）の方々により結成されました。

「家庭から火を出さない」をコンセプトとし、万が一のときのために救急活動等の練習を消防署・消防局の皆様の協力で行ってききました。

クラブ員みんなで各自が考える非常持ち出し袋を持ち寄って検討したり、救急隊員による三角巾講習などを開催しました。

現在は24名で和気あいあいといつも楽しく活動しています。

これからは、防災の知識向上のための講習会等開催する、いろいろな防火に関する事に協力するなど、できることから頑張っていこうと思います。

## 池上防火・防災クラブ

会長 佐藤 祥子

「笑顔で楽しく活動」をスローガンに設立25年を迎えます。活動としては、町内の防災訓練での防災品の展示、パンフレット配布、新聞紙を使ったスリッパ作り、ストックキングやレジ袋を使った応急処置、隔年での住宅用火災警報器の案内・斡旋・取付、講習会、年末町内パトロールなどを行っています。

現在の悩みとして、若手の参加がなく、だんだん高齢化しています。町内回覧での募集、声かけ、男性の参加にも積極的に呼びかけていきたいと思っています。

## 田浦町四・五丁目防火・防災クラブ

会長 鶴田 俣子

私たち田浦町四・五丁目防火・防災クラブは現在21名で活動しています。といってもコロナ感染予防の活動制限下と同じようにほとんど活動できていません。クラブ員の高齢化が主な原因です。

「自分の家から火を出さない」を合言葉にしてきましたが、予想される大規模災害にも対応できる知識や訓練が必要となってきたので、自治会とも協力していこうとしています。

若い方に声をかけていますが、仕事や家の都合でむずかしいですが、男性も参加できるようになったので、早速1名の方が参加してくださいました。クラブの未来は少し明るくなったのではないのでしょうか。

## 浦郷町防火・防災クラブ

会長 石渡 清美

現在会員数は33名です。活動内容としては、5月からはじまり、総会、炊き出し訓練、市内研修、救急救命講習会は毎年行っています。

会員の皆様は、自分の家庭を守るため、防火クラブに入会して、分からないことを学べる機会となっていることと思います。住宅用火災警報器の取付も、町内の皆様のための活動もしていただきました。

近年では災害がとても多く発生しております。私たちにできること、身の安全な備え、初動対応の備え、火災や災害が発生したときに少しでも皆様の助けになるよう、防火・防災クラブを通じて、勉強を重ねていくことができるように、これからも1人でも多くの会員が入会していただけるよう、楽しい会にしたいと思います。

## 各クラブ紹介～北～



## 吉倉防火・防災クラブ

会長 竹内 充代

吉倉防火・防災クラブは13名で構成されています。

なかなかクラブ員が増えないのが（高齢者が多いため）声かけしても集まりません。

我が地域の合言葉は「火災・事故・事件」を絶対に出さないことです。高齢者の一人暮らしが多いので、町内の人と一緒に声かけをしています。

町内会での行事にはみんなで協力し合い参加しています。

町内合同の防災訓練にはこぞって参加し学んでいます。私自身知らなかったことがたくさんあり、活動のたびに勉強しています。

これからも楽しく交流できるクラブとして活動を続けていきたいと思っています。

ご指導をよろしくお願いいたします。

## 船越町防火・防災クラブ

会長 伊藤 敦子

我が船越町防火・防災クラブは、平成24年4月に設立、会員数20名でスタートいたしました。

今年の4月で15年目となります。2年前に、13年間という長きにわたり会長を務めてくださった早川会長から、引き継がせていただきました。

この15年の間、一時期は親の介護や引っ越し等で、会員が役員を含め14名まで減少しましたが、各町内会の方々のご協力もあり、今は少し増えて16名で活動しています。

皆さん積極的に意見や提案をしてくださり、今度、北消防署の方と一緒に我が地区の消防車が入っていけない所の確認等を歩いて回る予定です。

「我が船越から火事を出さない」を合言葉に、これからも皆で楽しく学んでいきたいと思っています。





## 各クラブ紹介～南～

### 本公郷防火・防災クラブ 会長 内藤 位江

45周年記念ということで、本公郷のクラブの歴史を調べてみました。

町内会資料によりますと、平成13年に初めて婦人防火クラブとして名簿がありました。

当時は町内会女性役員ほぼ全員がクラブ員として所属していたとのことで、なんと会長以下メンバーが38名もいらしてびっくりです。その後平成22年に2代目会長に引き継ぎ、自主防災訓練時にはクラブ員が率先して消火訓練などを披露していました。

令和2年より私が引き継ぎ現在に至っておりますが、本公郷クラブ26年の間には、名称をはじめ、構成人数や年齢層など徐々に変化がありました。

しかし、消火器点検会や防犯をかねたパトロールなど、今できることを軸に、発足当時の「家庭から火事を出さない」「地域で助け合いましょう」の心を消防署と連携して、次の世代に繋げていきたいと思っております。

### 内川防火・防災クラブ 会長 山田 加代子

内川防火・防災クラブは内川町内会に在籍していますが、町内会は内川地区と舟倉地区があり広範囲となっています。

当クラブの活動内容は、町内会行事のお手伝いと消防署行事の参加です。

町内会行事のお手伝いの内容は、大きな行事として夏祭り・体育祭・防災訓練等です。

また、当クラブとして、町内会の方たちと日帰り旅行を実施しています。

昨年も実施したように、クラブ会員の方々が一人でも多く参加できる行事を実施してゆきたいと思っております。

### 新岩戸防火・防災クラブ 会長 赤島 順子

当クラブは、横須賀市の消防・防災団体で「家庭から火事を出さない」という理念のもと、昭和55年に結成されました。

当初は新岩戸町内会単独でしたが、今では6町内会に分断され新岩戸連絡協議会として構成されました。私たちクラブは6町内会代表として活動しています。

- ・各町内会の自主防災訓練支援
- ・新年のどんと焼き協力
- ・春・秋火災予防チラシ配り
- ・新岩戸防火・防災クラブニュース発行
- ・年2回の町内ごみ拾い
- ・岩戸独自の市外研修

こんな活動をしながら絆を深め、「いざ」という時に少しでも町内会のお役に立てればと使命感を持って活動しています。

無理なく、できることから、できるときに！！



## 長井防火・防災クラブ

会計 嘉山 裕美

長井は西地区に位置し、相模湾に面した風光明媚な地域です。

15町内会で構成され、それぞれ各町内会2名の防火・防災クラブ員を有し32名で活動しています。

毎年、2回開催する長井町民避難訓練では、自主防災指導員のクラブ員が中心となり、水消火器訓練を指導したり、炊き出し訓練を行うなどの活動をします。

また、夏から秋にかけては、町内のイベント（お祭りや盆踊り）等の行事に参加し、冬の歳末警戒では市長巡視に参加し、それぞれ分団の車に乗り、火災予防の広報活動を行います。

そして、講習会や研修会で身につけた内容を活用し、長井地区の防火・防災の要として地域に根差した活動を続けていきます。

## 大矢部防火・防災クラブ

会長 島崎 節子

防火・防災クラブ45周年おめでとうございます。

大矢部防火・防災クラブは今年で設立29年目をむかえ、これもひとえに町内会長、町内のみなさんのおかげです。

また、南消防署の署長をはじめ職員の方々にご指導、ご協力をいただきながら普通救命講習（AED）、自主防災訓練、ロープの使い方、ゲートキーパー講習、春・秋火災予防運動、各家庭へちらし配り、園児に消防服の着替えの手伝いなどを実施しています。

毎年、研修が楽しみです。

## 佐原防火・防災クラブ

会長 北村 喜美子

我がクラブは、会員19名のうち半数の方々が20年以上活躍しています。令和6年3月には設立25周年のお祝いをしました。

地域での行事や恒例である年2回のパトロール、消火器点検など積極的に参加しています。

また、南消防署の方々の協力で救命救急、消火器訓練も行いました。

昨年は、初めて消防車に乗せていただき地域のパトロールをしました。もうワクワク！ドキドキ！しました！ちなみに、ウグイス嬢も(笑)

一人住まい、高齢者が多い地域なので、隣近所への声かけを心がけているとともに、クラブ会員の入会を願い、これからも頑張ってまいります！

# 令和7年度 活動内容

## 運営協議会総会の開催 令和7年5月30日（金）



市役所正庁にて、横須賀市防火・防災クラブ運営協議会総会を開催しました。

本総会では、令和6年度事業結果及び今年度の事業計画の説明を行い承認が得られました。

総会終了後には、消防局指令課の職員により、119番通報についての講話と消防指令センターの見学を実施しました。

## 自主防災訓練指導員育成講習会 令和7年9月10日（水）



三春町コミュニティセンターにて、横須賀市危機管理課が主催する自主防災訓練指導員育成講習会を受講しました。

本講習会は、各地域で実施される自主防災訓練における指導員を育成することを目的とした講習ですが、防災の知識、技術の習得を目的に受講しました。

## 秋・春季火災予防運動中における防火広報の実施



火災予防運動期間中に、各地域の商業施設等において防火広報を実施しました。

当該広報では、火災予防に係る広報、住宅用火災警報器の重要性、適正な維持管理などについて地域住民に周知を図り、住宅から発生する火災の予防に努めました。

## 合同研修 令和7年12月4日（木）



消防局庁舎にて、16クラブ合同の研修会を開催しました。

本研修は、家庭内事故の防止と火災予防の推進を目的として、（一社）日本ガス石油機器工業会から講師を招き実施しました。

ガス・石油燃料機器の安全・安心な使用方法について、点検のポイントや誤った取扱いによる事故例等を中心に講話を聴講しました。

## 「全国女性防火クラブの集い」及び「第24回応急手当普及啓発推進会議」 令和7年10月30日（木）・31日（金）【感想】

近年、各地で災害が多く、阪神淡路大震災から30年が経ち、東日本、熊本と災害が発生しています。

「地震の予知はできない」「地震はいきなり起きる」その時、私たちはどうしたらいいのか？

昨年、横須賀市防火・防災クラブでも、避難所についての講習会を行っています。

避難所は、市の職員や、自治会の役員が運営をするわけではなく、「基本は住民の運営だ」とは誰も知らないと思われま

す。被災者が助け合いながら運営をしなければならないのです。

そこで私たち、防火・防災クラブの会員たちが少しでも避難所の知識を学ぶことの大切さを、そして、各家庭で「災害が起きたらどうする？」などの話し合いをしてください。

「人を救うのは人です」

横須賀にも、いつ災害が発生するか分かりません。

せっかく入会したのだから全員で知識を身につけませんか。

これはすべて「自分のため」だと思います。

浦郷町防火・防災クラブ会長 石渡さん





運営協議会主催による市外研修を令和8年2月3日から5日までの3日間実施しました。

今年度は、東京都にある長谷工マンションミュージアムを見学し、マンションの防災や歴史について研修しました。

### ●坂本防火・防災クラブ 会長 伊藤さん

今年の市外研修は、壮大なスケールの長谷工マンションミュージアム。

災害の歴史と、それに対応する集合住宅の進化、集合住宅だからこそできる防災・共助・減災などについて、ARや360度シアターなどの最新技術を用いた展示で、貴重な体験と学びの機会をいただきました。マンション水害時、満水警報が出た場合の具体的な対処法を伺ったり、1970年代と最新の実物大のマンションの間取りを体感比較したり。技術の進化にはもちろん目を見張るものがありましたが、その進化を支え、人々の安心できる生活を作るのはやはり「人」であること、災害に対する人々の認識であることを、あらためて実感させられました。

### ●吉倉防火・防災クラブ 会長 竹内さん

今回の研修に7名で参加しました。

皆さんが思うことは、地域の方のサポートが大切であり、学びになったことは、排水管がうまくできていて1年に1度清掃が入るのはいいと思いました。マンションの歴史は、災害によって次々と進化していることを知り次世代の住まいへと進化していることが分かりました。特に360度シアターでの映像が印象に残っています。

長谷工とは、テレビで見るだけだったので、あまりの大きさにびっくりしました。全国で一か所のコンピューター室で管理していること、不都合があればすぐに連絡を取る、そして解決すること。

### ●新岩戸防火・防災クラブ 副会長 千葉さん

CMで耳に残っていた「マンションのことなら長谷工」が研修先と聞いて、はじめは、マンションの構造や、耐震、防火、耐火などの設備を見るだけだと思っていました。

エントランスに案内され、本格的な博物館、研修施設、アウル24センターの内容に驚くことばかりでした。はじまりの物語や、未来の暮らしは映像を取り入れた内容で、きっとこんな生活があたりまえになる日がくると思いつつ、資源は有限なので、ごく一部の人のだけのものと考えてしまいました。高い建物は、災害に不向きという考えを改めました。マンションだからできる防災、より安全で長く住める安心感のために、マンション管理の研修施設は、防災のノウハウが詰まっていて、自分も身に付けたいなと思いました。町内会の防災倉庫を見直せるいい知識を得ることができました。

研修に参加させていただき、ありがとうございました。

## 消防関係表彰式 令和8年3月14日（土）

市役所正庁にて行われた令和8年消防関係表彰式では、5名のクラブ員の皆さんが優良防火・防災クラブ員として、横須賀市消防局長表彰を受賞しました。

受賞おめでとうございます。

- ・金谷防火・防災クラブ 藤 麻奈美さん
- ・池上防火・防災クラブ 加藤 絹代さん
- ・船越町防火・防災クラブ 千葉 まさ子さん
- ・佐原防火・防災クラブ 橋本 美由紀さん
- ・長井防火・防災クラブ 齋藤 玲子さん



## 令和7年度 神奈川県功労者表彰式 令和8年3月27日（金）

これまでの功績に対して、公益財団法人日本消防協会から女性消防隊表彰旗及び女性消防隊員功績章が授与されました。

受賞、おめでとうございます。

- ・女性消防隊表彰旗  
吉倉防火・防災クラブ
- ・女性消防隊員功績章  
池上防火・防災クラブ 佐藤 祥子さん



## 防火・防災クラブ 45年の主なあゆみ

昭和55年	吉倉、内川、本公郷各クラブ結成
昭和56年	汐入、金谷、坂本、田浦町四・五丁目各クラブ結成
昭和57年	桜が丘クラブ結成
昭和58年	横須賀市婦人防火クラブ運営協議会発足
昭和61年	新岩戸クラブ結成
昭和63年	長井クラブ結成
平成元年	逸見クラブ結成
平成5年	浦郷町クラブ結成
平成9年	大矢部クラブ結成
平成10年	佐原クラブ結成
平成12年	三春クラブ結成
平成13年	池上クラブ結成
平成24年	船越町クラブ結成
令和5年	クラブ名称「婦人防火クラブ」から 「防火・防災クラブ」に変更

